



ボッシュ、マッププロバイダーHERE の株式を取得 データに基づいたサービスでシナジー効果を視野

2018年1月

PI 9803 RB joe/af

- ▶ ボッシュ、HERE Technologies の株式 5%を取得
- ▶ ボッシュ CEO、デナー:「インダストリー4.0、スマートホーム、スマートシティ向けのデータに基づいたサービスでシナジー効果が期待できると考えています」
- ▶ ボッシュと HERE 協業の焦点は、自動車業界と自動車以外の業界を対象にすべての顧客へのグローバルなオープンプラットフォームの提供

シュトゥットガルト(ドイツ) - ボッシュは、デジタルマップと位置情報サービスのグローバルプロバイダーである HERE Technologies の株式 5%を取得します。両社は、取得価額について非公開とすることに合意しました。この株式取得は、ボッシュのサービス事業に弾みをつけるとともに、データに基づくリアルタイムな位置情報サービスを自動車業界内外の顧客に提供するグローバルプロバイダーになるという HERE の目標に近づくための一助となります。「ボッシュは自動車だけではありません」とボッシュ取締役会会長であるフォルクマル・デナーは述べています。「インダストリー4.0、スマートホーム、スマートシティは急成長を遂げている事業分野であり、データに基づくサービスを確立、拡大することによって HERE との間でシナジー効果が生まれるでしょう」。HERE Technologies の最高経営責任者(CEO)である Edzard Overbeek は、こう付け加えます。「自動車とモノのインターネット化(IoT)の両分野で幅広い専門知識を誇るボッシュのような強力なパートナーを迎えることができ、喜んでいきます。ボッシュは北中南米地域、アジア、欧州で確固たる地位を築いており、HERE がグローバル規模で事業を拡大する魅力的な機会を提供してくれます」。株式取得には独占禁止当局の許可が必要であり、2018年第1四半期に手続きが完了する見込みです。

インダストリー4.0:モノの流れを自動化・合理化する

データに基づくサービスは、ボッシュの成長にますます寄与するようになっていきます。ボッシュが持つ IT の専門知識とインフラもその成長に伴い充実してきており、世界120カ所の拠点で2万人を超えるソフトウェアエンジニアを雇用し、独自の IoT クラウドを運用しています。さらに、ボッシュは IoT ソリューション専用のソフトウェアプラットフォームである IoT Suite を提供しています。ボッシュと HERE との間で予定されている協業は、たとえばインダストリー4.0 の分野で行われる可能性があります。可能性の

あるアプリケーション領域のひとつとして挙げられるのは、イントラロジスティクスです。たとえば、高精度の屋内ナビゲーションマップを利用して、生産ラインまでのモノの流れを自動化・合理化することができます。同様に、施設内をよく知らない保守要員を修理が必要な機器がある場所まで案内することも可能です。

自動運転:高精度地図の作成と更新

すべての顧客のためのオープンなプラットフォームは、自動車と自動車以外の両分野において、特にネットワーク化・自動化されたモビリティに関する分野において、ポッシュと HERE の協業の焦点となります。自動運転車は、高精度な地図を必要とします。地図は車両のセンサーから送られてくるデータによって最新の状態にアップデートされ、交通状況、渋滞、工事現場、事故に関するリアルタイムの情報が補足されなければなりません。ポッシュが提供する Radar Road Signature (レーダー ロード シグニチャー) は、これを実現するソリューションの一つです。Radar Road Signature は、車両に搭載されているポッシュのレーダーセンサーから送られてくる情報を利用して、高精度マップを作成します。その後、これらの地図は常時更新されます。ポッシュは今後も TomTom、AutoNavi、百度、インクリメント P などのパートナーと協力して、Radar Road Signature への取り組みを続けます。ポッシュと HERE は、特定のメーカーに縛られない、自動車メーカーをグローバル規模でサポートするソリューションを作成することを目指しています。これが実現すると、様々なメーカーの車両が高精度マップに情報を提供し、リアルタイムで地図を更新することが可能になります。さらに、多数の車両がデータを提供することで、モビリティサービスの精度が向上します。たとえば、すべてのドライバーが駐車場や充電スポットをより簡単に探し出せるようになります。

報道用画像: #1128259, #1143668

報道関係対応窓口:

Jörn Ebberg,

電話: +49 711 811-26223

世界のポッシュ・グループ概要

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016 年の従業員数は約 39 万人 (2016 年 12 月 31 日現在)、暫定決算報告での売上高は 731 億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティ ソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ポッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ポッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ GmbH とその子会社 450 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ポッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 120 の拠点で約 5 万 9,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861～1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)